

道徳時の授業のあり方

- 道徳的実践力を育てる指導 -

松島 留五郎 (昭和学院中学・高等学校教諭)

第1章 道徳の指導と資料選び

第1節 道徳資料がもつべき条件

第1項 道徳資料の反映

はじめに

道徳時の指導は、生徒に自らの生き方を深く考えさせ、道徳的価値を一人ひとりが内面から自覚し、望ましい道徳性を身につけ道徳的実践力を育てることを目標としている。この指導が、教師の一方的な説話や単なる生活体験の話し合いに終始しないよう、また、生徒が興味や関心を高め、よりよい生き方を追求していけるよう用いられる教材を、道徳では「資料」と呼んでいる。教科の教材は知識や技能を学習することを意図しているが、道徳の場合は、主体的に判断し内面化させるものである。

1. 道徳の資料としての条件

- ア ねらいを達成するのにふさわしい資料
- イ 生徒の興味・発展に応じた資料
- ウ ねらいとする道徳的価値が適切に表現され深く考えさせる資料
- エ 多様な価値観が引き出され深く考えさせる資料
- オ 特定の価値観に偏らない中正な資料
- カ きれいごとにならない資料
- キ 生徒が親近感をもつ資料
- ク 特性の生かされた資料
- ケ 時間内で扱える資料

本校で主に活用した資料

副読本 (東京書籍「明日をひらく」)・心のノート・VTR・新聞記事・読み物資料・生徒作文・アンケート資料・録音テープ・教師の体験作文等

2. 本年度の道徳時での多様な資料の活用例・・・中2

(1) 生徒が親近感をもつ資料

ア. 主題名「かけがえのない命」 導入資料「生徒作文」 平成18年6月24日実施

(A子) 14年前、生まれたときは、心臓に穴が開いていました。両親が言うには、穴がふさがらなかつたら手術をしていたということです。でも今はふさがっているのです。この世に生んでくれた両親のためにも最高の一生を送りたいです。

(B子) 夏にわたしは生まれました。病院から退院してまもなく、台所でいたずらをしてポットの熱湯を右肩にかぶってしまいました。だけど母がすぐに冷やしてくれたおかげで、大事にはいたりませんでした。だけど、まだ右上の肩の下にケロイドがのこっています。恥ずかしいけれども死ななくて良かったと思います。

[資料の感想] 生徒全員の中から抜粋した2人の作文を紹介して導入とした。級友ということもあり、生徒への問いかけでは「自分もこんな経験があった」などで身近な資料の効果があつた。

イ. 主題名「愛校心の高揚」 (本校の先生方の中学生時代の思い出ということで協力依頼したもの) 平成19年1月27日実施 (H先生) 中学時代、私は目の前の課題をどんどんこなさなければならなかつた。勉強に追われ、部活動は陸

上、なんで走るのかわからず苦しかったがとにかく走った。柔道にも首をつっこみ朝の暗いうちから家を出て寒稽古に励んだ。3年間学校を休むことはなかった。好きな彼女もできた。親に内緒で一緒に映画を見に行った。町に出るのに兄のコートを黙って借りて、カッコつけて周りの目を気にしながらバス停で待ち合わせた。別の女の子に相談事を持ち込まれ再三の電話に苦しめられた。そして受験にも苦しみ、落ちたらどうしようと、先輩の家出、自殺未遂の話が頭から離れなかった。さらに学校長が倒れて弔辞を読んだ。寺で正座しての告別式で足がしびれて読むのが大変だった。生徒一人ひとりに気やすく声を掛け、おらかで立派な校長先生だった。学校では時間があると、よく廊下の窓から空を眺め雲の向こうに何があるか、外国の地を夢見ている。

いろんなことがあった。個性的な先生が多く、面白くて恐くて独特の雰囲気に関われ自分も教師になることを強く思った中学三年間だった。一人ひとりの先生が懐かしく思い出される。愛すべき中学校であった。(A先生) 小高い丘の上にある真っ白い新校舎。中1の夏、全校あげての引越しが行われました。校舎の完成度は八割で、不便なことも多かったけど新しいものを一番に使えうれしさがありません。グラウンドの整備も不十分で、体育や学活の時間に草刈りや石拾いを行って体育祭を開きました。卒業式のとき、何もなかった体育館の壁に私たち卒業生が彫った校歌の歌詞が掲げられました。「私たちが作りあげた校舎」私たちの学年にはそんな想いがありました。そんな中学時代、私には忘れることの出来ない出来事があります。小2の頃から仲の良かった友達は、志望高校が違うとなかなか言い出せなかった私に「お互いに頑張ろう」と、みんながしているからと無視をした友達は、卒業直前に謝った私に「気持ちにはわかってたよ」と。二人とも優しい言葉をくれました。でも、私自身はおとなしく、ちょっと行動の遅い友達に、イライラしてきつい言葉を投げかけることが多く、最後まで優しい言葉をかけられませんでした。大学の夏休み、中学卒業以来はじめて彼女に会いました。びっくりするくらいおしゃべりになっていて、「中学の時は楽しかった。またね。」と言って去っていきました。次に会う時は、昔のことを謝ろうと思いましたが、二度とその日はやってきません。5ヵ月後、成人式の直前彼女は逝ってしまったのです。以来、年に二度、私は彼女に会いに行きます。手をあわせていると「人に優しくね」といわれているような気がします。中学時代に帰ることが出来たら、真っ先に彼女に優しく声をかけたいです。

[資料の感想] 学年の先生方8名の中の2人をここに掲載したが、実際は8人の先生方の「私の中学生時代」の作文を活用した。学年の先生方の作文ということもあり、興味を持ってくれた。特に、8人の先生方の作文がどれなのかを当てさせるゲーム的要素も取り入れての授業は大変盛り上がった。

(2) 道徳の授業をより関心を持たせるためのアンケートの資料

ア. 主題名「公共のために」 あなたの環境保護度チェック 平成18年10月10日実施

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1. あなたはごみをきちんと分別していますか。 | はい・いいえ |
| 2. ノートやメモ帳をまだ使えるのに、捨てたりはしない。 | はい・いいえ |
| 3. シャワーを浴びるときは、ずっと出しっぱなしにしていない。 | はい・いいえ |
| 4. ペットボトルは必ず、分けるようにしている。 | はい・いいえ |
| 5. 電気やテレビをつけっぱなしで寝たりは絶対しない。 | はい・いいえ |
| 6. 地球の温度が高くなるのは大変なことだと思う。 | はい・いいえ |

(アンケートをもとに、グループで調査したものを発表)

- 1班・・・ビンやカンに分けて集めればリサイクルできる。また、プラスチックやビニールなどを燃やした場合、ダイオキシンという毒が出て、これを吸いすぎると「がん」になってしまう。奇形児が生まれてくるという結果も出ている。
- 2班・・・古新聞を9ヶ月分集めると、高さ8mの木を一本切らなくてもすむそうです。今、紙の使い過ぎで木が減って光合成で作られる酸素も減っています。酸素が足りなくなったら大変です。
- 3班・・・シャワーを浴びる時間を一日一分短くすると、1年間で1人25リットルの石油が節約できます。今のまま石油を使うと、40年ぐらいでなくなってしまう。
- 4班・・・ペットボトルを燃やしてしまえばただのゴミと同じですが、リサイクルすれば、トレーナーやYシャツ、ゴミ袋や鞆などに姿を変えて使えます。
- 5班・・・電気を作り出すには、石油などを燃やしたエネルギーを利用します。物を燃やすには酸素が必要で、酸素を燃やすと二酸化炭素になるので、これが地球の周りにたまると地球の熱が宇宙に逃げなくなって地球の温度が上昇する。

6班・地球の温暖化が進むと、2100年には気温が平均で4度ぐらい高くなって、北極や南極の氷が溶けて、海面の高さが7メートル近く上昇してくる。市川市や東京は土地が低いので大変なことになる。
 [資料の感想] 環境を取り上げたので、教科内容的になったが、実際の生活体験からの資料なので、このような形で道徳授業も変化があり興味・関心の高いものとなった。

イ．本校でのいじめに関して、その調査とともに、特別に道徳の授業を実施した。

主題名「かけがえのない命」 事前アンケートの集計結果 平成18年12月14日実施

*あなたはいじめられたことがありますか。

ない.....18人(51.4%) ある.....17人(48.6%) どんなことをされたか
 ・無視をされた ・悪口を言われた

*その時あなたはどんな気持ちでしたか。 ・悲しい ・つらい

*それはどのように解決しましたか。

 ・人に相談した ・やりかえした ・気にしなかったら、自然となくなっていた。

*あなたはいじめをしたことがありますか。

ない.....11人(31.4%) ある.....24人(68.6%) どんなことをしましたか
 ・無視をした ・悪口を言う なぜしたのでしょうか。

 ・相手が嫌いだから ・嫌なことをされたから ・みんながやってたから

*どんな気持ちでしたか。また、思い出すとどんな気持ちになりますか。

 ・気分が悪い ・何とも思わない ・悪いことをした ・なんてバカなことをしたんだろうと思う。

[資料の感想] 本校でのいじめの実態が少し理解できたアンケートであった。これをみせたことで、どんな授業をやるのかといった期待があったようだ。展開では副読本「私のいもうと」を活用した。

(3) 特質を生かした資料

主題名「人類愛」 朗読資料 ヒロシマの空 平成19年2月24日実施

夜 野宿して やっと避難さきにたどりついたら お父ちゃんだけしか いなかった
 —— お母ちゃんと コウちゃんが 死んだよう・・・

8月の太陽は 前を流れる八幡河に反射して 父とわたしの泣く声を さえぎった そのあくる日
 父は からの菓子箱をさげ わたしは 鎌をかついで ヒロシマの焼け跡へ とぼとぼと
 あるいていった やっとたどりついたヒロシマは 死人を焼く匂いにみちていた それはサンマの
 焼くにおい 燃えさしの鉄橋を よたよた渡るお父ちゃんとわたし 昨日よりも沢山の死骸 真夏の
 熱気にさらされ 体がぼうちようして はみだす 内蔵 渦巻く腸 かすかな音を たてながら
 どすぐろい きいろい汁が 鼻から 口から 耳から 目から とけて流れる ああ あそこに
 土蔵の石垣がみえる なつかしい わたし家の跡 井戸の中に 燃えかけの包丁が 浮いていた
 台所のあとに お釜がころがり 六日の朝たべた かぼちゃの代用食がこげついていた
 茶碗のかけらがちらばっている 瓦の中へ 鎌をうちこむと はねかえる お父ちゃんは瓦のうえ
 にしゃがむと 手でそれを のけはじめた ぐったりとした お父ちゃんは かぼそい声で指さし
 た わたしは鎌をなげすてて そこを掘る 陽にさらされて 熱くなった瓦 だまって 一心に掘
 りかえず父とわたし ああ お母ちゃんの骨だ ああ ぎゅつとにぎりしめると 白い粉が 風に
 舞う お母ちゃんの骨は 口に入れると さみしい味がする たえがたいかなしみが のこされた
 父とわたしに襲いかかって 大きな声をあげながら ふたりは 骨をひらう 菓子箱に入れた骨は
 かさかさと 音をたてる 弟は お母ちゃんのすぐそばで 半分 骨になり内臓が燃えきらないで
 ころり と ころがっていた その内臓に フトンの綿がこびりついていた —— 死んでし
 まいたい! お父ちゃんは叫びながら 弟の内臓をだいて泣く

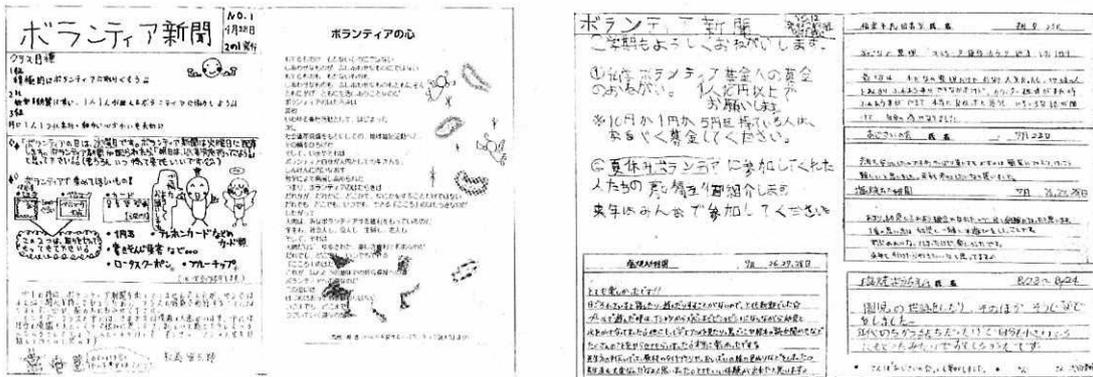
焼跡には鉄管がつきあげ 噴水のようにふきあげる水が あの時のこされた唯一の生命のように
 太陽のひかりを浴びる わたしは ひびの入った湯呑み茶碗に水をくむと 弟の内臓の前においた
 父は 配給のカンパンをだした わたしは じっと 目をつむる お父ちゃんは 生き埋めにされ
 た ふたりの声をききながら どうしようもなかったのだ それからしばらくして
 無傷だったお父ちゃんの体に 斑点がひろがってきた 生きる希望もないお父ちゃん それでも
 のこされる わたしがかわいそうだと ほしくもないたべ物を 喉にとおす

—— ブドウが たべたいなあ —— キウリで がまんしてね
 それは九月一日の朝 わたしはキウリをしぼり お砂糖を入れて ジュースをつくった
 お父ちゃんは 生きかえったようだとうわたしを見て わらったけれど 泣いているような
 よわよわしい声 ふと お父ちゃんは 虚空をみつめ —— 風がひどい
 嵐がくる・・・嵐が といった ふーっと大きく息をついた そのまま がっくりとくずれて
 うごかなくなった ひと月も たたぬまに わたしは ひとりぼっちになってしまった 涙を流し
 きた あとの 焦点のない わたしの からだ 前を流れる河を みつめる うつくしく
 晴れわたった ヒロシマの あおい空

〔資料の感想〕この資料は、「林 幸子」の作品で、「吉永 小百合」が朗読したテープを聴かせた。学級の雰
 囲気が暗くなったが、生徒は真剣に聴いていて、涙を流す生徒もいた。このテープから「平和の大切さ」や「愛
 の大切さ」「生きることの大切さ」が感じ取れた資料である。

(4) 新聞記事やその他の記事の活用

主題名「温かな思いやり」 平成18年10月28日実施



〔資料の感想〕本校では、各学年毎にボランティア新聞を発行している。これは、週1でクラスのボランティ
 ア係が中心となって作成している。生徒全員に配布しているもので、このような新聞も道徳の資料として扱う
 ことができる。特に、いろいろな記事なども載せるので、十分「ねらい」が叶うものである。最初の新聞の中
 での「ボランティアの心」は展開資料となり、次の資料は生徒の夏休みの体験談でもあり関心が高かった。

3. 道徳プリントからみた生徒の感想

道徳プリントの活用ということで、本校では必ずプリントを用意して、質問事項に対して、生徒個々に記入
 させ、その記入したものを発表させたり、話し合いの材料にしている。また、実施担当者は、「主題のねらいは
 達成できたか」などの反省材料にしている。そして、コメントを書いたりして生徒に少しでも道徳の授業の意
 義を分からせている。ここでは、実際に生徒がどのような答え方をしたかなどを集計し、今の生徒たちの考え
 方などを知り、日頃の生徒指導に役立てている。

〔道徳プリントの生徒の記入結果〕・・・中2 (33~37人回答)

ア. 主題名「やりぬく心」

平成18年9月2日実施

* あなたは、夏休みに何かやりぬいたことがありますか。

ない…… 7人 (21.2%) ある……26人 (78.8%) →それは何か
 ・部活 (17人) ・勉強 (4人) ・家の手伝い (3人) ・読書 ・塾

* この決勝戦で、斎藤選手や田中選手が得たものは何だと思えますか。

・あきらめないでやるということ ・仲間を信じるということ ・野球の楽しさ ・努力すること
 ・すべてを出し切ることの楽しさ

イ. 主題名「責任と自覚」

平成18年9月30日実施

(責任を取るといふことはどういうことだと思えますか)

・自分がやるべきことを最後までやる ・自分のいったことはちゃんとやる
 ・どんなことがあっても約束を守る ・計画したこと、頼まれたことをあきらめずにやる

(自分の良いところをいかしていくために、あなたはどうしますか)

- ・自分の意志をつらぬく
- ・相手の気持ちを常に考える
- ・自分の良いところが分からないので、良いところを見つけたい
- ・自分の悪いところを良い点にかえていく

ウ．主題名「温かな思いやり」 平成18年10月28日実施

(あなたの考える「思いやり」とはどんなものですか。具体的な例をあげてみましょう)

- ・席を譲る
- ・心づかいのできる人
- ・人の気持ちを考えてくれる
- ・荷物を持つ
- ・誰に対しても優しい
- ・困った時に助けてくれる
- ・励ましてくれる
- ・相談にのってくれる
- ・違っていることを教えてくれる

(本当の「思いやり」とはどんなものだと思いますか)

- ・人の気持ち、その人の立場になって考える
- ・相手の立場、状況を考える
- ・信頼

(授業の感想を書きましょう)

- ・自分におきかえて考えるからちょっと難しかった
- ・みんなの意見を聞くことが出来ておもしろかった
- ・心理テストみたいでおもしろかった
- ・「思いやり」の意味が少しわかったような気がした

エ．主題名「謙虚な心」 平成18年11月18日実施

(あなたは自分が脳死状態になった時、臓器を提供しますか)

提供する.....21人(60.0%) 提供しない.....14人(40.0%) 理由

- ・手術をしたくない
- ・痛い
- ・怖い
- ・いやだ
- ・知らない人にあげたくない
- ・自分のものだから
- ・他人のために自分がなくなるのはいやだから
- ・最後まであきらめたくない

(あなたの家族が臓器移植が必要になりました。臓器を提供しますか)

提供する.....31人(88.6%) 提供しない.....4人(11.4%) 理由

- ・手術はいやだ
- ・家族のためにはいや

(あなたの家族が臓器を提供すると言い出しました。その時あなたは.....)

賛成する.....14人(40.0%) 反対する.....21人(60.0%) 理由

- ・安全ってわけじゃないから
- ・死んだら困る
- ・病気になるのがこわい
- ・失敗したら困る
- ・家族以外にあげるのはいや

(臓器移植について、知っていることを書いてみよう)

- ・12歳以上でないと移植はできない
- ・血液型とか一致しないとだめ
- ・脳死状態の人が他の人に臓器を提供
- ・日本の法律では子供は移植できない
- ・大変なこと

*生徒たちに説明したこと

- ・脳死とは脳のみが死んだ状態のことで、これを死と認め、本人、親族が認めていれば移植できる。
- ・生体移植は親族のみ可
- ・すべての臓器が移植できるわけではなく、適合・不適合がある。
- ・日本の法律では、15歳以下の子供は移植できない

(「人を愛せる人間」とは、どんな人のことだと思いますか)

- ・相手のことをすべて受け入れられる人
- ・自分を犠牲にする事が出来る人
- ・優しい人
- ・心の広い人
- ・すべての人を受け入れられる人

オ．主題名「生きがい」 (あなたが生きがいを感じるのはどんな時ですか) 平成18年11月25日実施

- ・食べている時(14人)
- ・寝ている時(8人)
- ・遊んでいる時(6人)
- ・友人と話をしている時(6人)
- ・好きなことをしている時(5人)
- ・音楽を聴いている時
- ・運動している時
- ・生きていと感じる時
- ・TVを見ている時
- ・一人で空を見ている時
- ・歌っている時
- ・お風呂に入っている時
- ・ボーッとしている時
- ・家族といる時
- ・メールをしている時
- ・好きな人に会えた時
- ・笑っている時
- ・自分の夢や目標に一步でも近づいた時
- ・部活
- ・何かをやったうまくいった時

(あなたが生きがいにしたいと思う将来の夢・仕事はありますか)

ない.....15人(44.1%) ある.....19人(55.9%) その夢は何か

- ・ディズニーのダンサー
- ・トレーナー
- ・インストラクター
- ・キャビンアテンダント
- ・イラストレーター
- ・ライフセーバー
- ・医療、福祉関係
- ・料理関係
- ・OL
- ・みんなの役に立つ、喜んでもらえる仕事
- ・社長
- ・エレクトーンの世界大会にでること
- ・自衛隊

(生きがいにしたい将来の夢・仕事に就くために、今自分が出来ることは何か)

- 夢がないと答えた人
- ・とにかく大学に行く
- ・勉強する
- ・はやく夢を見つけたい

夢があると答えた人 ・勉強する ・あきらめず夢を持ち続ける ・何事にも全力投球

(自分の夢を実現するために必要なことは何か)

・努力すること ・あきらめないこと ・勉強する ・時には何かをあきらめなければいけないこともあるのではないか。 ・くじけそうになったときは、同じ事だけではなく色々なことに目を向けてみることも必要

カ. 主題名「かけがえのない命」 (あなたはいじめをとめたことがありますか)

平成18年12月14日実施(生徒指導部からの依頼)

ない.....28人(80%) ある.....7人(20%) なぜですか。

・勇気がない ・自分がいじめられる ・こわい ・かわりをもたたくない

*「いじめ」と「ふざけ」の境界線はどこだと思いますか。

・相手がいじめと感じたらいじめ ・一人対一人か一人対多数か ・お互いの中で上下関係ができたら

・相手の顔が笑っているか、嫌な顔をしているか、泣いているか

・相手がいやがっているのに何度でもする

*副読本「わたしのいもうと」を読んで、考えよう。

(この詩を読んでどんなことを感じましたか)

・さみしい、悲しい、いじめはこわい ・なぜ、いじめってあるんだろう ・いじめでこんなに人生が変わってしまうなんて悲しい ・家族は毎日どんな気持ちで過ごしているんだろう

・いじめられている人はこんなに苦しんでいるのに、いじている方はなんとも思っていないなんて

(「いじめ」をなくすために私たちにできることはなんだと思いますか)

・自分がされて嫌なことは相手にはしない ・いけないことはいけないと言える勇気を持つ

・相手の良いところをたくさん見つけてあげる ・いじめなんてすることに意味がないと言うことにみんな気づこう

終わりに

道徳時の授業のあり方という題目で3年間研究してきた。研究というよりも本校での取り組みについて実践例やアンケートの集計、生徒の意見などをまとめたにすぎない。しかし、本校の教師達が少なからず道徳に情熱を持って取り組む姿勢が出てきたことは事実である。

生徒にとって道徳の授業が他教科と比べて軽んじて臨む傾向にある。昔の日本人は世界の民族の中でも礼儀正しく、他を思いやる民族であった。ところが今はどうだろうか、礼儀知らずの道徳心の欠けた日本人とみられている。このように考えてみると、生徒にとって道徳の授業が他教科と同等の価値のあるものとして受け止められなければならない。ならば、道徳の授業をいかにしてやれば、生徒たちの心にその価値が大切なこととして受け入れられるか。生徒たちがこれから生きていく上での行動の基となるのが、この自覚された道徳的価値である。

資料を通して、道徳的価値を生徒が自分にとってきわめて大切なものとして受け止めるように指導する一方、道徳授業は、よりよく生きることへの迷いや願いを掘り起こし、より高い価値の実現に向けて努力する手掛かりや課題意識を刺激する時間でもある。

そして、実践として何か芽生えるものがすぐにではないとしても、人間として生きていくための大きな指針になればよい。そのためには、教師自身も道徳の授業に対して、情熱を向けることが大切であり、「人間いかに生きるべきか」を生徒と一緒にあって、共に語り、共に考える時間であると言える。

参考文献

- ・中学校道徳副読本「明日をひらく」教師用指導書・・・東京書籍
- ・道徳教育・・・明治図書
- ・道徳授業でのやさしさづくり・・・東洋館出版社
- ・とっておきの道徳授業・・・日本標準